

高分子量PLA



概要

高分子量PLAは低MFRであるため、これまで困難だったPLA100%の溶融成形(※)が可能かつ容易に
※例としてフィルム成形やブロー成形など



お客様へ訴求できるポイント

- 工業用コンポスト条件で分解する成分が100%
- バイオマス成分100%
- 単一素材で成形→リサイクルが容易

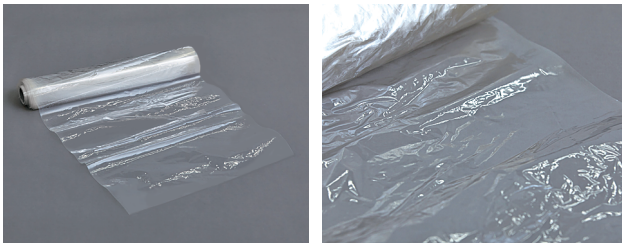
評価項目		高分子量PLA	市販のPLA
分子量(Pst換算)	Mw: 10 ³ g/mol	>300	220
光学純度(※)	L%: HPLC	>99.5	98.6
流動性(MFR)	190℃: g/min K7210	<1	3.6

高分子量PLA成形例



PLA100%の成形(フィルム/ブローボトル)

- バイオマス100%・工業用コンポスト条件で分解
- 高い透明度
- 高い透湿性



薄膜化可能(フィルムの場合)

一例として、食品包装材等への展開が期待できる。
※特に、薄いフィルムは商品バリエーションが増え、他社製品との差別化も期待できる。

高分子量PLAとは

RICOH

リコーがこれまで培ってきた超臨界二酸化炭素を用いた可塑化重合法で製造される、重量平均分子量が30万以上のPLAです。ハイケムとリコーは共同で高分子量PLA量産化の開発を行っています。

お問い合わせ ハイケム株式会社 先端材料企画室 (ml-h0401@highchem.co.jp)